

製品名: ATP1B2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87721**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000, IP 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:33 kDa; Observed MW:45 kDa

抗原情報

遺伝子名	ATP1B2
別名	AMOG
遺伝子ID	482, 11932, 24214
SwissProt ID	P14415, P14231, P13638
免疫原	ヒトATP1B2の合成ペプチド

背景

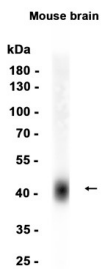
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、Na⁺/K⁺およびH⁺/K⁺ ATPaseのβ鎖タンパク質ファミリー、およびNa⁺/K⁺-

ATPaseのサブファミリーに属します。Na⁺/K⁺-ATPaseは、細胞膜を横切るNaおよびKイオンの電気化学的勾配を確立および維持する役割を担う膜タンパク質です。これらの勾配は、浸透圧調節、さまざまな有機および無機分子のナトリウム結合輸送、神経および筋肉の電氣的興奮性に不可欠です。この酵素は、大きな触媒サブユニット（アルファ）と小さな糖タンパク質サブユニット（ベータ）の2つのサブユニットで構成されています。ベータサブユニットは、アルファ/ベータヘテロダイマーの組み立てを介して、細胞膜に輸送されるナトリウムポンプの数を調節します。Na⁺/K⁺-ATPaseの糖タンパク質サブユニットは、複数の遺伝子によってコードされています。この遺伝子はベータ2サブユニットをコードします。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの転写変異体が見つっています。[RefSeq 提供、2014年12月]

研究分野

-

画像データ



ATP1B2 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。